

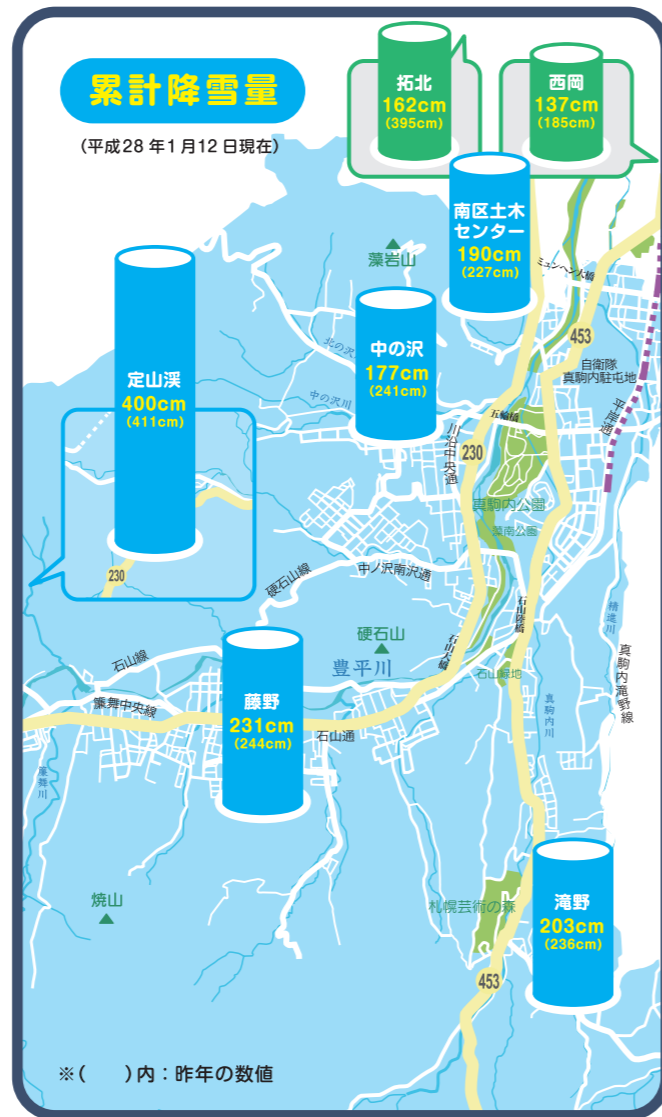
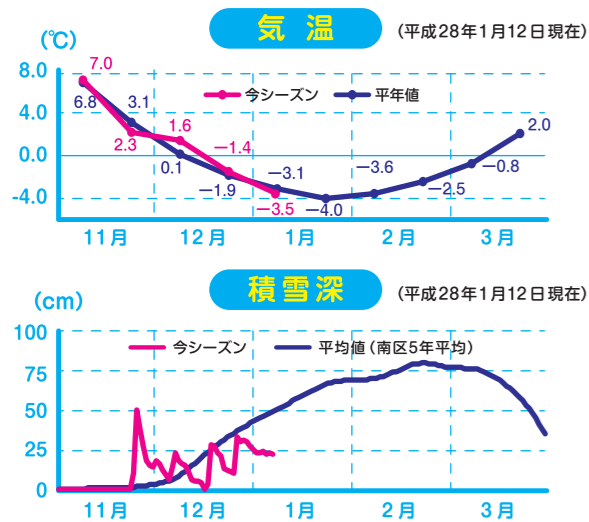
南区の気象状況

南区南側は昨年と同程度

今年度は、全市的には非常に雪の少ない状況のようですが、南区の中でも特に南側の地区については、昨年と同程度の降雪量となっています。(滝野・藤野・定山溪など)

小学校においては、1月20日から3学期がスタートし児童の通学も始まります。道路の排雪はすでに始めているところですが、引き続き本格実施していきます。

南区土木センターの観測値



こんにちは
南保健センターです!

除雪は冬場の体力づくりに効果的

除雪の運動量は激しいスポーツとほぼ同じ運動量です。そして除雪は、自然な筋力トレーニングの効果もあり、運動不足になりがちな冬場の体力づくりとしてとてもよい運動です。

しかし、心臓に負担がかかりやすく、血圧も上がりやすいので、「除雪は運動」であることを忘れないようにしましょう。



発行元：札幌市南区土木部維持管理課

お問い合わせ先：

【リーフレットや南区の除雪全般について】
札幌市南区土木部維持管理課 (南区土木センター)
電話：011-581-3811

【南区の除雪作業について】
■北地区除雪センター 電話：011-583-6851
■南地区除雪センター 電話：011-573-9222

※お住まいの地域の除雪センターについては、冬の暮らしガイドや、札幌市南区ホームページにてご確認ください。

今後のリーフレット発行予定：SAPPORO 2月上旬

このリーフレットのバックナンバーを札幌市南区ホームページに掲載しています。

札幌市南区 除雪関連 検索



冬みち便り

vol.3

By ショベラと除雪の仲間たち

札幌市南区土木部
平成28年1月21日発行

このリーフレットでは、南区のみなさまに4回にわたり、市の除排雪の情報や南区の取組をお伝えしていきます。

ロータル&ロータンは、赤い回転式の羽根で雪をかきこんで上のシュートで吹き飛ばします！
ロータルは排雪や拡幅除雪で、
ロータンは歩道除雪で主に活躍します！



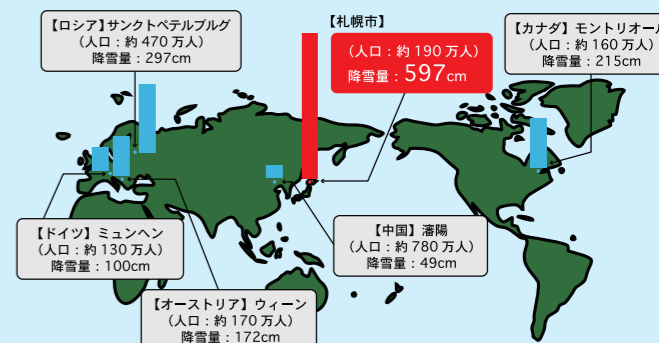
正式名称 大型ロータリー
全長：7.95m 横幅：2.60m 高さ：3.58m
重量：約 14.4 トン エンジン出力：287 kW
最大除雪量：2,900 トン/h
最高速度：時速 49 km 市の保有台数：13 台



正式名称 小型ロータリー
全長：5.78m 横幅：1.50m 高さ：2.78m
重量：約 6.7 トン エンジン出力：115 kW
最大除雪量：1,100 トン/h
最高速度：時速 40 km 市の保有台数：202 台

たくさんの雪が降るまち・札幌

約195万人が住む札幌。このような大きな都市に年間6mもの雪が降ることは、世界中を見てもとてもめずらしいことです。そんなまちに住む私たちにとって、雪と共に暮らすのは大変なこともあります。これからもみんなで工夫をして雪と一緒に上手に暮らしていくことが大切です。



排雪とは

排雪には、たくさんの**人と機械**、また**お金**が必要で、そのうえ**雪たい積場**の確保が不可欠となります。

除雪で積み上げた雪山を、ロータリー車などで削り取り、ダンプトラックに積んで雪たい積場などへ運搬する作業のことです。

市では、幹線道路(交通量が多く、道路の幅がおよそ10mを超える道路)を主に排雪します。

住宅街を通る生活道路に関しては、町内会と協議の上、申請のあった路線について、除雪パートナーシップ制度のもと排雪を行います。

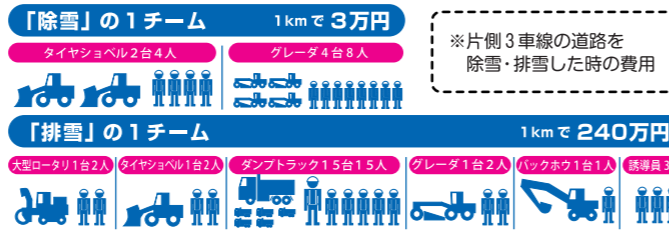


排雪を行う時期

雪山が高くなったり道路の幅が狭くなって、これ以上雪の置き場がなくなってきた場合などに、全体の工程も考慮しつつ総合的な判断で排雪を開始します。(シーズン1回。おおむね1月中旬～3月上旬)

1 人と機械

排雪を行うには、多くの人員と機械が必要であり、また相応の日数を必要とします。



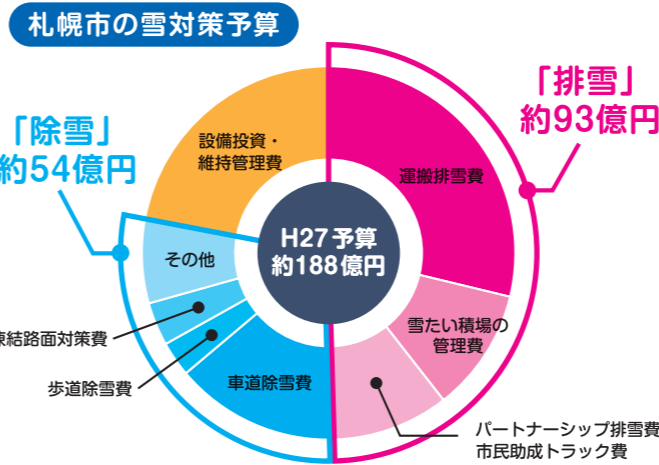
南区では、排雪に適した期間(1月中旬～3月上旬)の中で、約273kmもの道路を排雪していますが、そのために最大で10セットの「排雪」チームを編成し、実施しています。



2 お金(予算)

排雪を行うには、たくさんの人と機械と日数がかかることから、同じ距離を作業するのにも除雪に対し約80倍もの費用が必要になります。

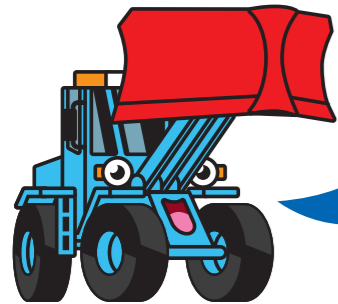
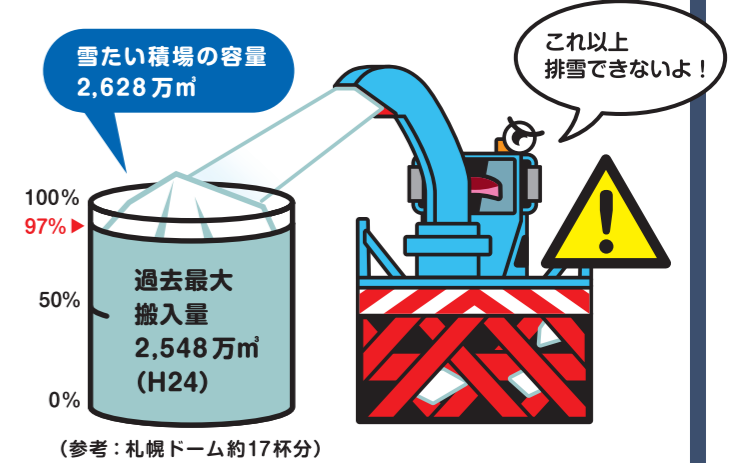
また、札幌市の雪対策予算は、H27年度は約188億円となっていますが、そのうち「排雪」に関する費用が全体の約半分を占めています。



3 雪たい積場

雪たい積場には広い土地が必要で、かつ雪解け水の処理が可能な場所であればならず、新たな場所を確保するのはなかなか簡単ではありません。

現在確保している雪たい積場は、市全体で76か所(容量:2628万m³)ですが、過去の最大搬入量(2548万m³)は、それに対して約97%と迫っており、余裕はない状況です。



「どうして排雪は年に1回しかできないんだろう?」「なんでもっと雪を持って行ってくれないんだろう?」などと思う方もいらっしゃるかもしれませんが、**排雪を取り巻く状況はとても厳しく、これ以上増やすことはむずかしいのです。**
排雪量を少しでも抑えるため、みなさんのご理解とご協力が必要です!

市の取組

メリハリをつけた排雪をしています!

【排雪抑制】
多くの幹線道路においては、排雪量を抑制するために、図のように路側部の雪を残した排雪を行います。

【排雪強化】
一方で、バス専用(優先)レーンや狭小バス路線など、バスの定時運行の確保のために、通常シーズン1回の排雪を2回・3回と増やして対応している路線もあります。



ご理解を!



市民の取組

排雪量の抑制にご協力ください!

❗ 雪出しはやめてください!

排雪時の雪出しは排雪作業の遅れにつながるほか、排雪量が増えることにより、余計に費用が掛かってしまったり、雪たい積場の容量オーバーにもつながりかねません。排雪の日に合わせて、敷地内(屋根や庭)の雪を道路に出すのはやめましょう。

ご協力を!

雪ふみで雪を減らそう

フカフカの雪を踏むと、体積は約1/5にまで減少します。雪ふみをして、敷地内での雪処理を心がけましょう。運動不足の解消にもなり一石二鳥!

公園を地域の雪置き場として活用しましょう

公園を雪置き場として活用するには、一定のルールのもと、市と町内会との覚書の取り交わしが必要になります。(詳しくは第1号で紹介していますので、ご確認ください。)

問い合わせ 南区土木センター 電話: 011-581-3811